

2026年3月16日  
金沢エナジー株式会社

## 「第4回EGK工芸アワード」の募集開始について

金沢エナジー株式会社（代表取締役社長：手崎 裕之）は、3月16日（月）より、「第4回EGK工芸アワード」の募集を開始しましたのでお知らせいたします。

今後も本顕彰制度を通じて次世代の工芸作家を後押しするとともに、多くの方々が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、石川・金沢の伝統工芸の持続的な発展に貢献してまいります。

### 【事業概要】

事業名	第4回EGK工芸アワード
趣旨・目的	今まさに国内・世界へはばたこうとする工芸作家、グループを後押しするとともに、多くの方が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、石川・金沢の伝統工芸の持続的な発展に寄与すること
主催等	主催：金沢エナジー株式会社 特別協力：北國新聞社 協力：株式会社ビームス 後援：金沢市，一般財団法人石川県芸術文化協会， 一般財団法人石川県美術文化協会，北陸放送， テレビ金沢，金沢ケーブル，エフエム石川， ラジオかなざわ・こまつ・ななお
応募期間	2026年3月16日（月）～5月15日（金）
結果発表	2026年8月上旬
表彰式	2026年8月下旬
展示会	2026年8月下旬～9月下旬

### <お問い合わせ>

金沢エナジー株式会社  
地域エネルギー企画部 地域共生安全対策室  
TEL:076-224-0130(代表)

以上

工芸の新しいうねり、金沢から。

KOGEIにはパワーがある。



## 第4回 EGK工芸アワード エントリー受付開始

### 第3回受賞者

#### 金沢エナジー賞



いしい ゆうま  
石井 佑宇馬  
分野/染色

2020年、金沢美術  
工芸大学美術工芸学  
部工芸科入学。2024年、  
同大学美術工芸学部工芸科卒業、大学院美  
術工芸研究科工芸専攻入学、現在同大学大  
学院修士課程2年在籍



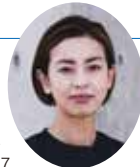
Flow, and become a swell

#### 北國新聞社賞



なかた まゆ  
中田 真裕  
分野/陶芸

2005年、北海道大学  
水産学部卒業。2017  
年、香川県漆芸研究所修  
了。2021年、金沢卯辰山工芸工房修了。現在  
金沢市を拠点に活動、日本工芸会正会員



Voyage

#### ビームス賞



ほき しえり  
保木 詩衣吏  
分野/ガラス

2009年、武蔵野美術  
大学 工芸工業デザイン  
学科 卒業。2012年、富山ガ  
ラス造形研究所 研究科 卒業。2015年、金沢卯  
辰山工芸工房 ガラス工房 修了。2017年、金沢  
市にて「保木 硝房」として独立。2023年、金沢卯  
辰山工芸工房専門員



水線

都市ガスと電気をお届けする総合エネルギー企業

## 金沢エナジー(EGK)は次世代の工芸作家を応援します。

石川・金沢では、新たな個性や感性を持つ工芸作家が、脈々と受け継がれてきた伝統技術を習得し、独自の解釈により発展させてきました。「EGK工芸アワード」は、次世代の工芸作家を後押しするとともに、多くの方々々が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、伝統工芸の持続的な発展に寄与するための顕彰事業です。工芸作家の皆さんにとって、このアワードが一つの目標となることを願っています。

——金沢エナジー株式会社 代表取締役社長 手崎 裕之

●主催/金沢エナジー株式会社 ●特別協力/北國新聞社 ●協力/株式会社ビームス

●後援/金沢市、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人石川県芸術文化協会、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお





石川・金沢には、藩政期以来、脈々と受け継がれてきた伝統工芸があります。先人からバトンを受けた新しい才能が、国内はもとより海外にも通じる質の高い技術を、さらに発展させてきました。

2022年に創設された「EGK工芸アワード」は、今まさに国内・世界へはばたこうとする工芸作家、グループを後押しするとともに、多くの人が日常的に質の高い技術に触れる機会を創出し、石川・金沢の伝統工芸の持続的な発展に寄与するための顕彰事業です。

第4回EGK工芸アワード募集開始 応募締切／2026年5月15日(金)

## 【募集要項】

応募資格	<ul style="list-style-type: none"><li>●作家、職人、デザイナーなど、石川県の伝統工芸の制作に従事している個人、グループ</li><li>●石川県出身者または石川県に在住歴があること</li><li>●50歳未満であること(2026年5月15日時点)</li><li>●審査会に提示できるオリジナル作品が2点以上あること</li><li>●本顕彰制度の開催趣旨を尊重していること</li><li>●自薦他薦は問わない(他薦の場合は本人の同意を得ていること)</li><li>●過去受賞者の応募を認める</li></ul>
応募方法	<ul style="list-style-type: none"><li>●オンライン申込フォームからお申し込みください。 <a href="#">申込フォーム▶</a></li><li>●専用申込用紙を特設ページからダウンロードのうえ、作品写真と併せて事務局にメールにてお申し込みください。</li></ul>
選定方針	藩政期以来の伝統に裏打ちされた上質の技術、美意識を体現するとともに、伝統に新たな価値を与える創造性、独自性をもった工芸作家を選定します。
審査項目	以下の項目を中心に一次審査・二次審査を行います。 ※二次審査は現物作品で行います。該当の申込者にご連絡差し上げます。 ご不明な場合は事務局にご連絡ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>●石川県の伝統工芸技術を習得し、かつ独自の解釈により昇華させているか</li><li>●応募者の個性や感性が、活動や作品に反映されているか</li><li>●伝統工芸に対する考え方、未来にむけての目標が確立できているか</li><li>●応募者が、積極的に対外発信に取り組んでいるか</li><li>●応募者が携わった範囲(製作工程の箇所、デザイン、プロデュース部分など)</li></ul>
審査員	唐澤 昌宏(国立工芸館長) 奈良 宗久(茶道家) 中川 衛(彫金人間国宝) 南雲浩二郎(ビームス ディレクターズバンク クリエイティブディレクター) 金田みやび(ギャラリスト) 小中寿一郎(石川県芸術文化協会理事) 手崎 裕之(金沢エナジー代表取締役社長)
賞の種類	金沢エナジー賞、北國新聞社賞、ビームス賞の3賞を表彰します。
受賞者特典	① 賞金(50万円) ② メディア(北國新聞等)の取材露出 ③ 企業タイアップ企画等の支援 ④ 展示会にて作品展示
結果発表	2026年8月上旬にEGK工芸アワード特設ページ、および北國新聞紙面にて公表します。
表彰式	2026年8月下旬(予定)
展示会	2026年8月下旬～9月下旬(予定)



EGK工芸アワード特設ページ  
<https://egk-award.jp/>

